



令和3年度 庄内こどもの杜幼稚園 年長組 運動会 杜のお手伝い隊の様子① (6/28)



しかいグループ

しかいグループでの活動、第一回目。子どもたちも「せんせい、なにからきめる〜？」とワクワクしている様子でした。

まず、子どもたちと話しあったのは、『しかいってどんなおしごと？』です。子どもたちの中でしかいは「プログラマーをいうひと」でした。

それに加えて「きおんをしらせる」「おちやをのむようにいう」「けがしたひとをつれてくる」

など看護の面でも子どもたちから意見が出てきたので今年のしかいグループは、救急隊の仕事も取り入れながら進めていく予定になりました。

そうなるとグループ名も変えたいとのことだったので次回、子どもたちといいネーミングを決めたいと思います。あと、マイクを持って一人で話すことが恥ずかしい子どももいたのでペアを組んで言えるようにしました。次回は実際にマイクを使って、ホールで話す練習をしていきたいと思っています。

辻



としたグループ

お手伝い隊として初めての年下グループの活動では、自己紹介を行ない、次に「年下グループの仕事とは」をみんなで話し合いました。「あかちゃん組さんが困っていたら助けてあげる！」「手遊びとかしたら良いんちゃう？」と色々な意見を言ってくれました。

後半は、数人のグループに分かれ、手遊びの練習を行ないました。グループで話し合いみんなの前で実際に手遊びをしてもらいました。その手遊びをみて振り返りながら「みんなで揃える」「前を向く」「大きい声でする」と改善点を出し合いました。

次回は、乳児クラスのお手伝いに行き何の手遊びをしているか、何の手遊びが好きかを聞きに行きます。 福原



どうぐグループ

最初に道具グループはどんな仕事をするのか、どんな道具を運ぶのかを去年の動画を見ながら確認しました。子どもたちも「跳び箱も出してるで」「ゴールした人を連れて行ってあげてる」など気付いたことを言い合っていました。

また、ひよこ組の先生に「ひよこ組さんは全員走れるのか？」「ハイハイなどの場合は何が必要か？」ということ聞きに行きました。その結果、マットやプービーカーが必要になることが分かりました。

最後は、ホールで順番にゴールテープを持つ経験をしました。子どもたちは声を掛け合ってどちらがゴールした時にゴールテープから手を離すかを決める姿も見られました。

次回は、動画の中で出てきた道具をどうやって持てばよいか一緒に考えながら実際に運んでみようと思います。 森山

